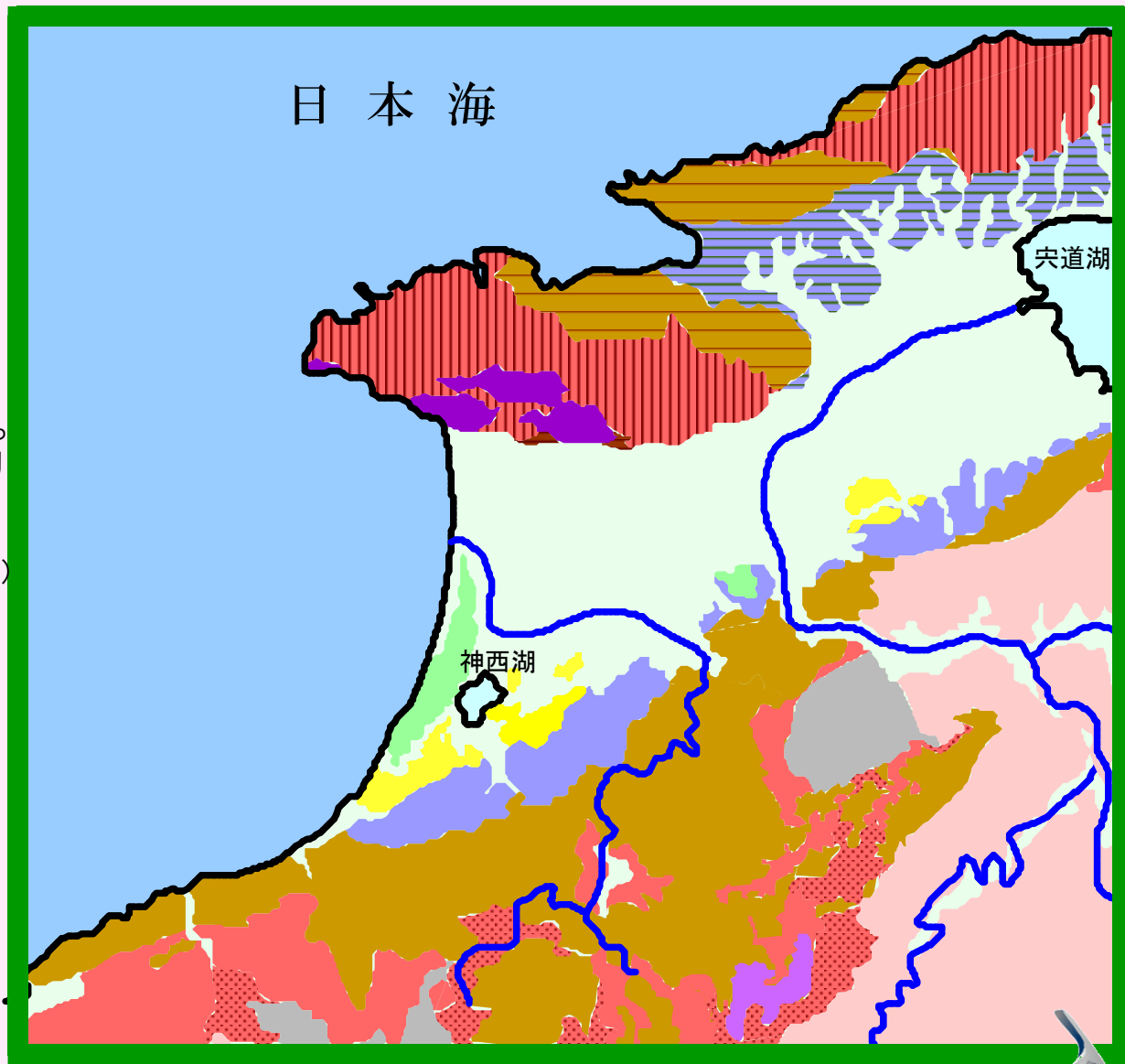
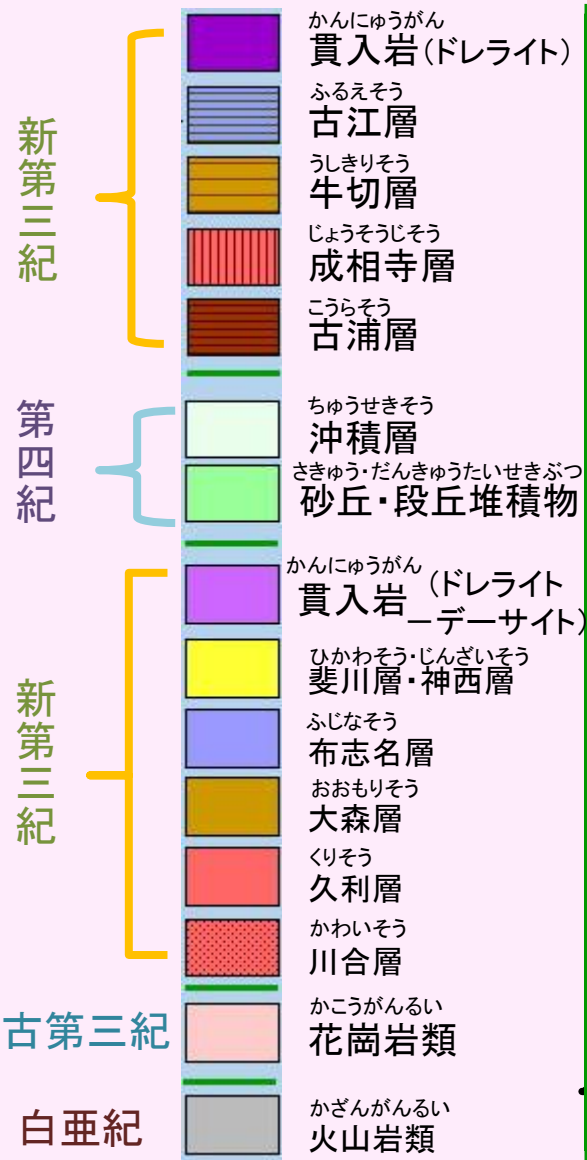


出雲地域の地質の特徴

地層の広がりを見てみましょう!

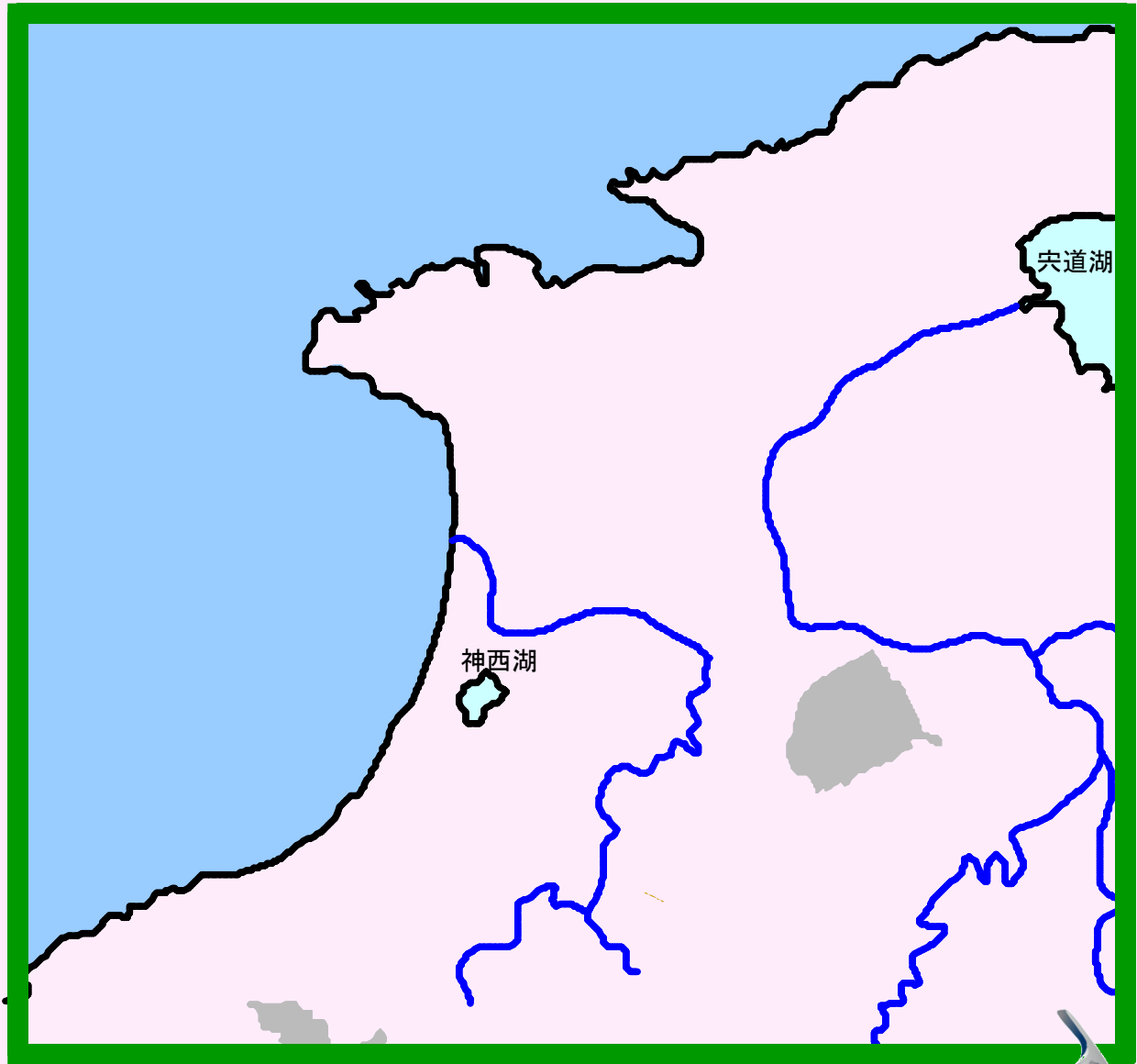
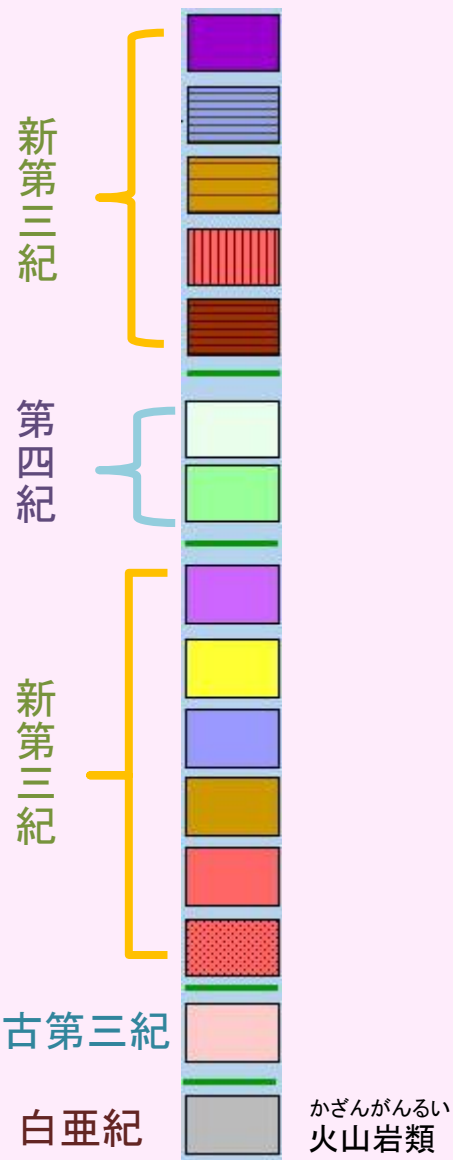


* 古い時代からどんな順番で堆積したか見てみましょう。



出雲地域の地質の特徴

中生代 白亜紀(1億4300万年前～6500万年前)

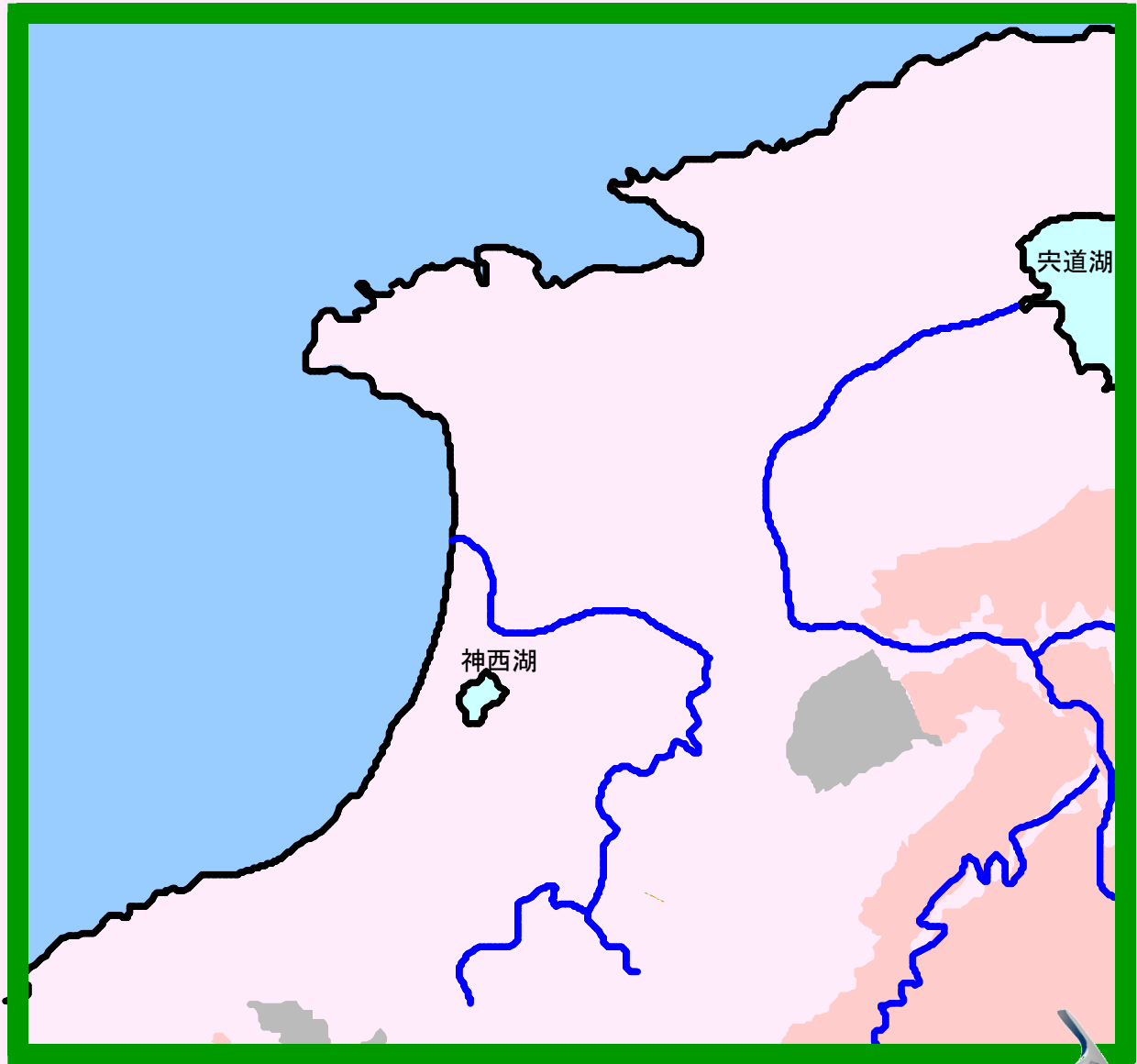
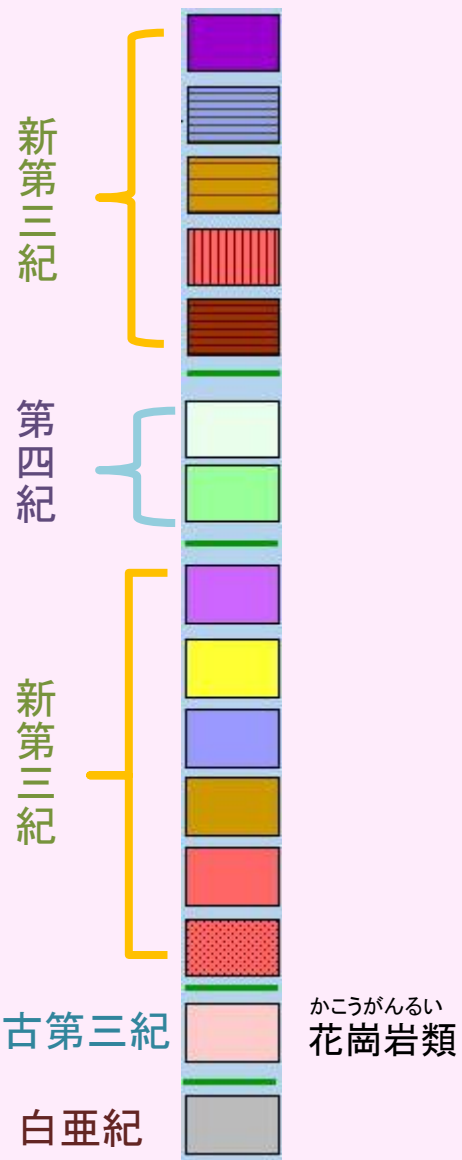


* 一番古い地層は白亜紀の火山岩類です。



出雲地域の地質の特徴

新生代 古第三紀(6500万年前～2500万年前)

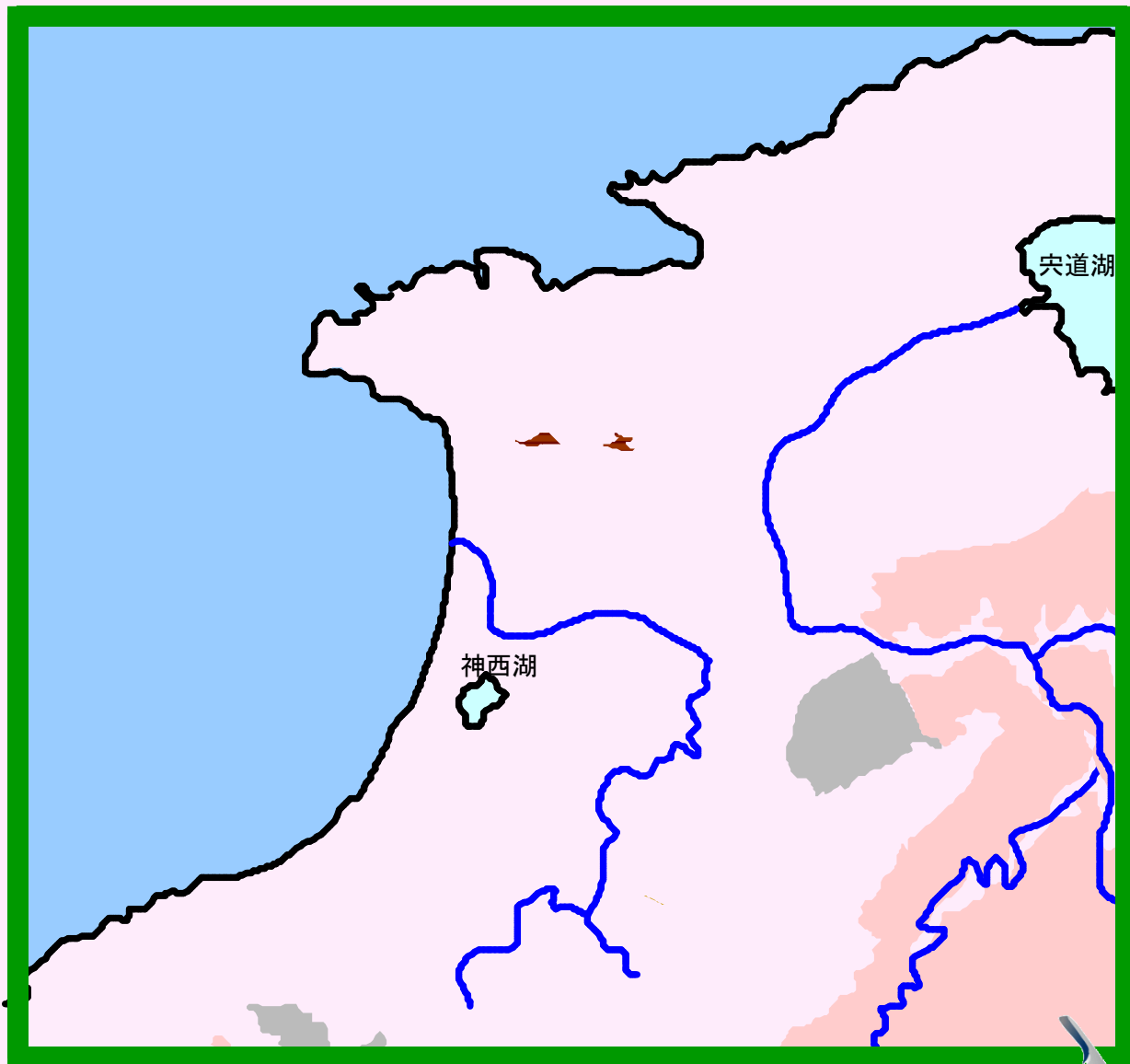
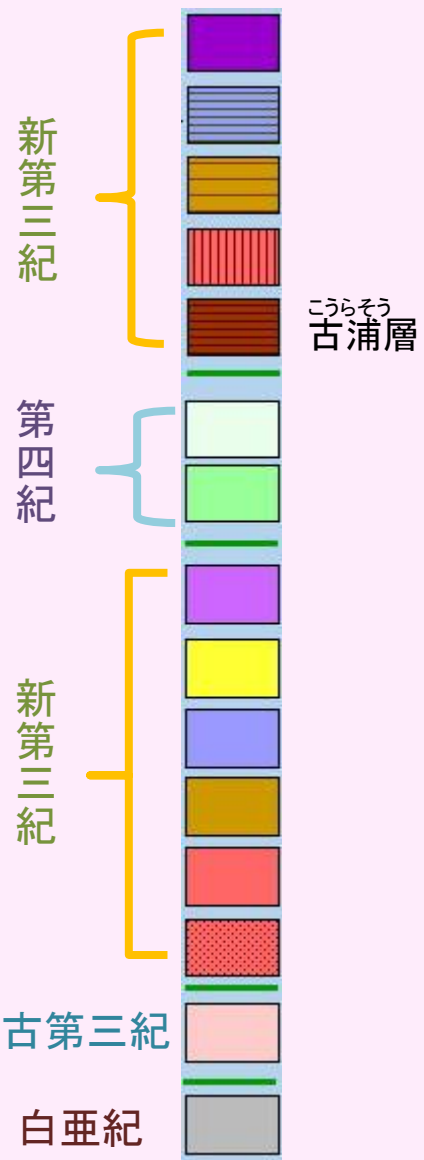


* 出雲の南部には、花崗岩類が堆積し、基盤の岩石となっています。



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(22500万年前～1660万年前頃)

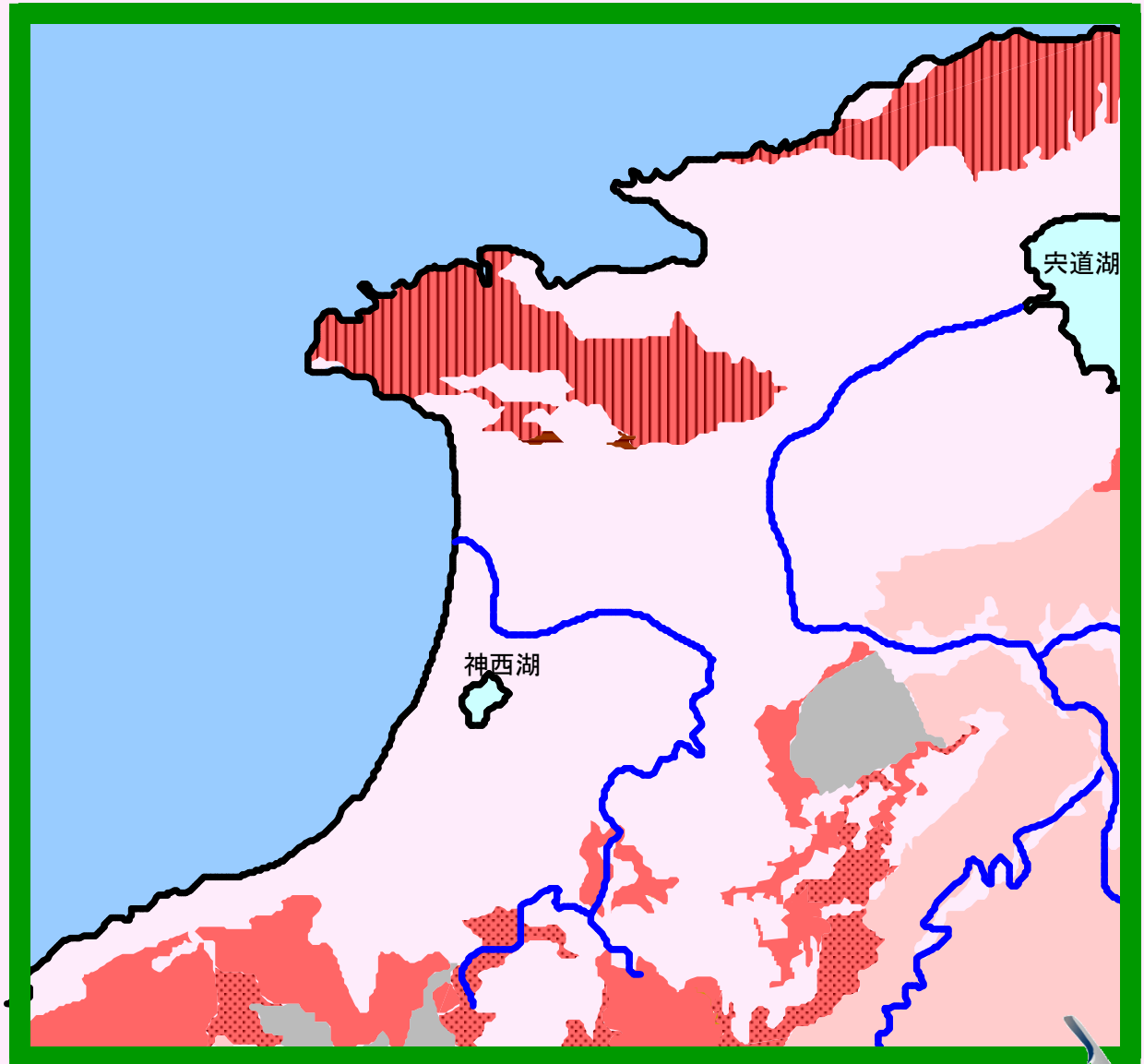
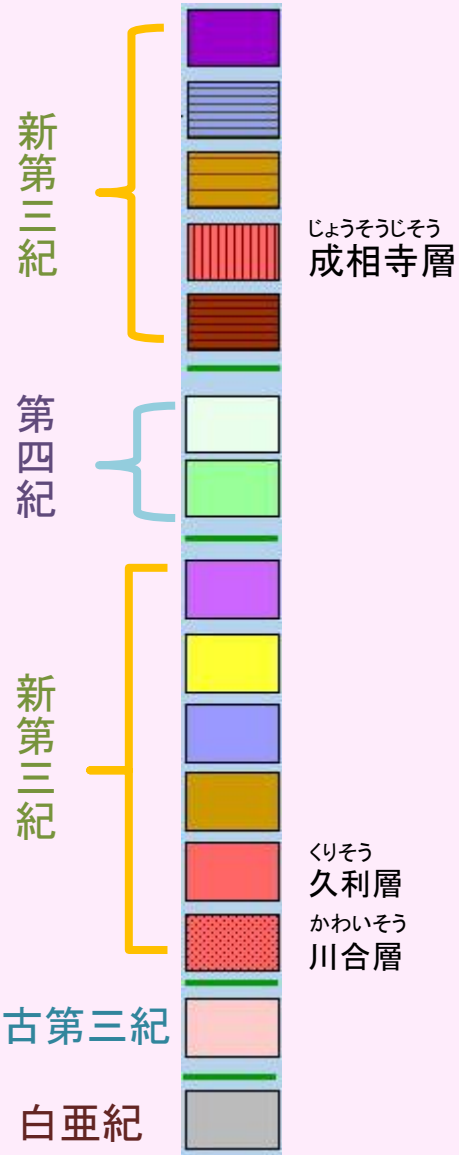


* 半島部(北山)の南に古浦層が見られます。(淡水～汽水での堆積層です)
出雲の南部には、波多層という同じ頃の地層があるのですが、神戸川上流域のため、この地図には表れていません。



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(1660万年前～1450万年前頃)

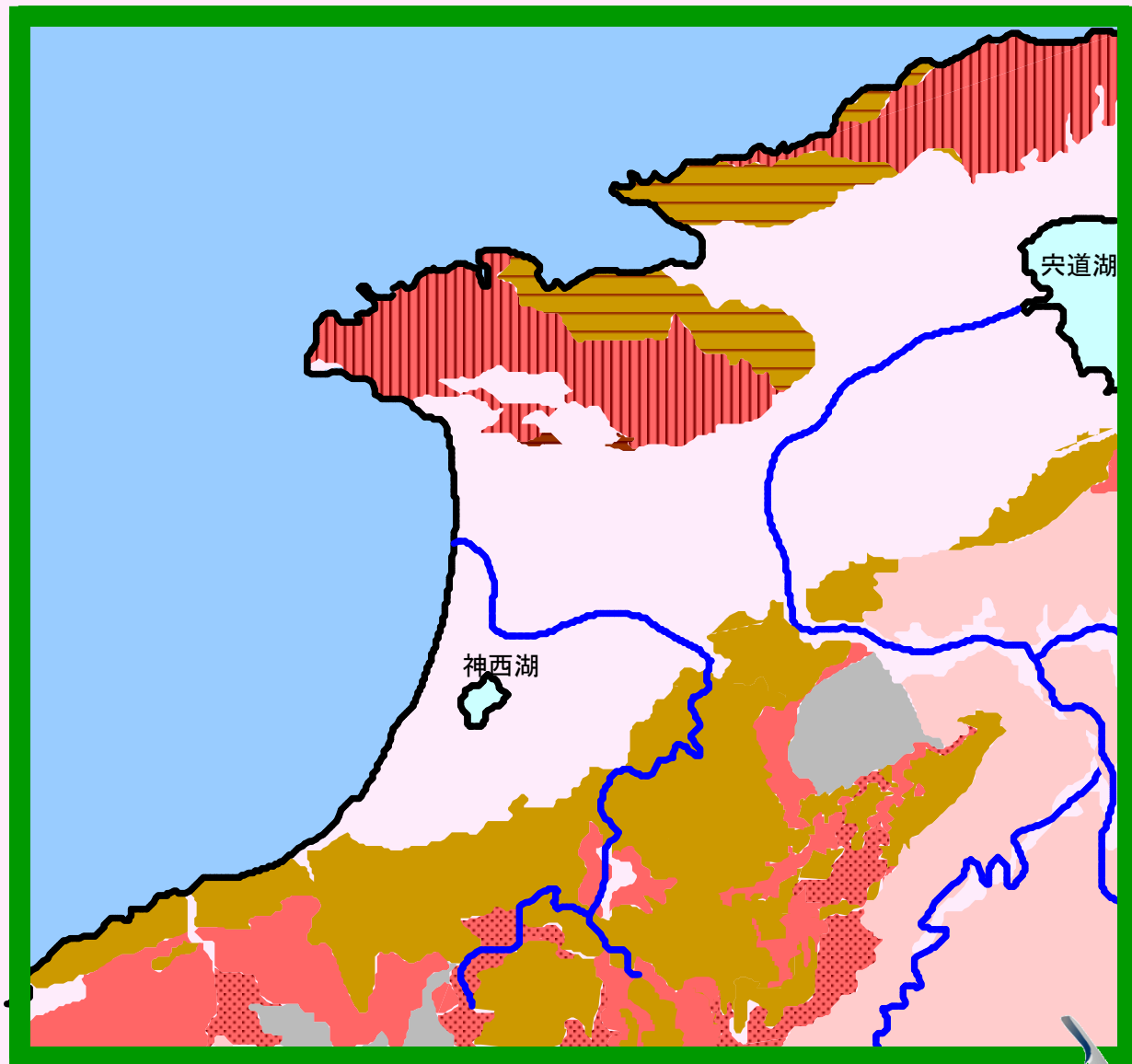
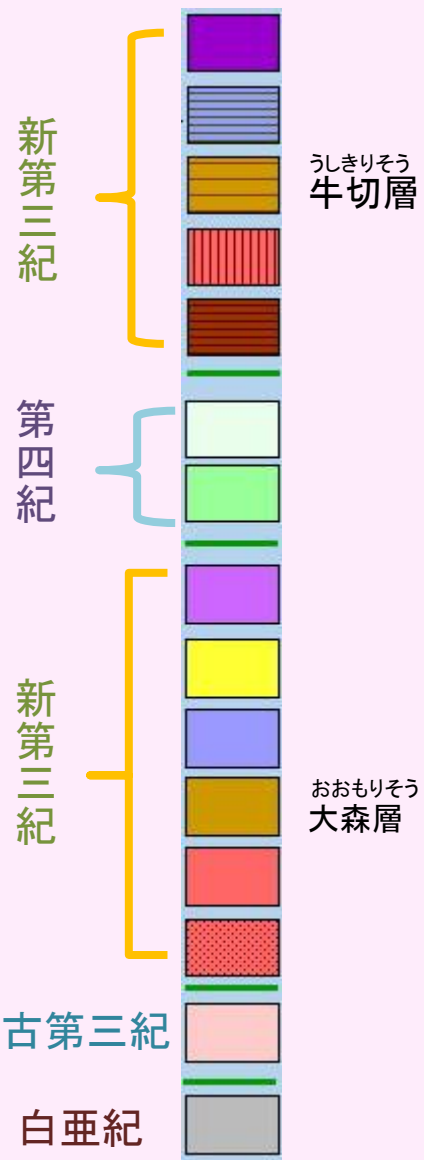


* 半島部、内陸部ともに海でたまった地層の分布が見られるようになります。(日本海の拡大時期です)



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(1450万年前～1400万年前頃)

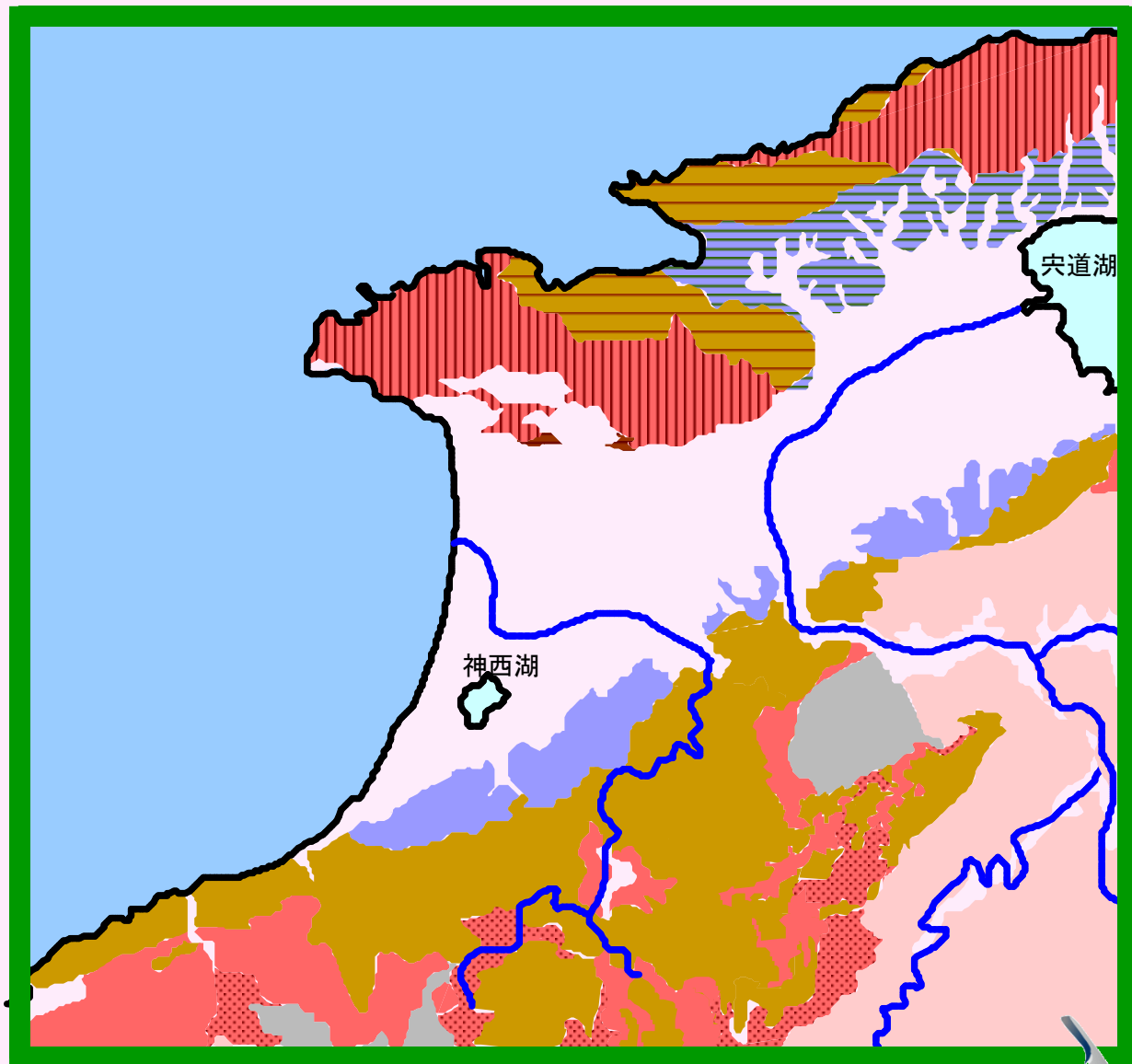
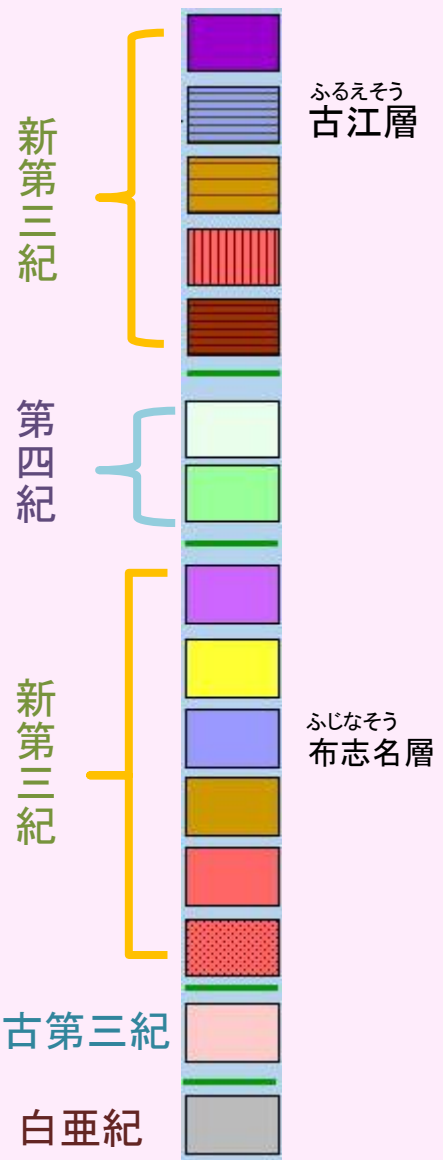


* 半島部、内陸部とも海でたまった地層が分布します。
内陸部では、陸上での火山活動も見られます。



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(1400万年前～1200万年前頃)

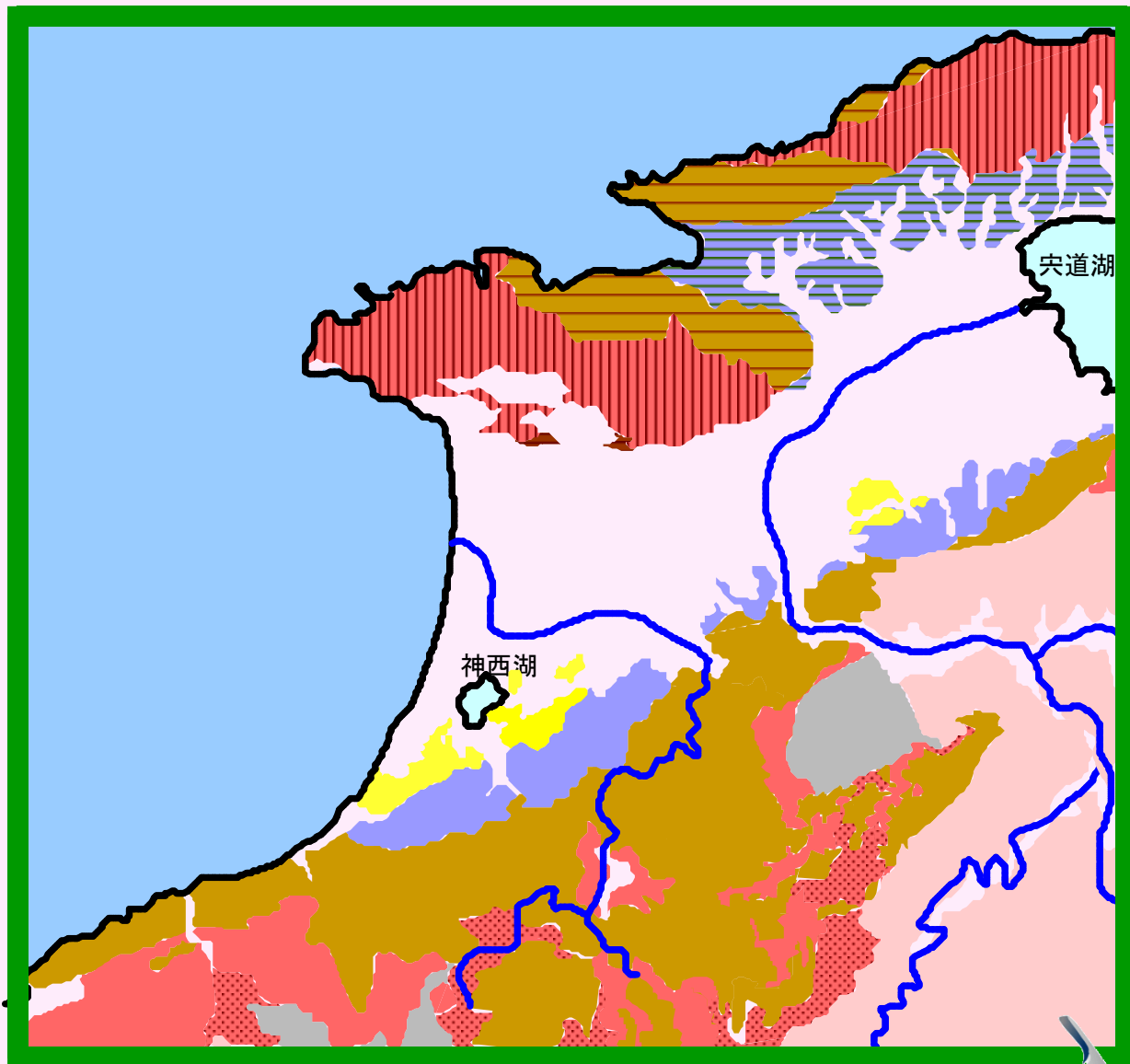
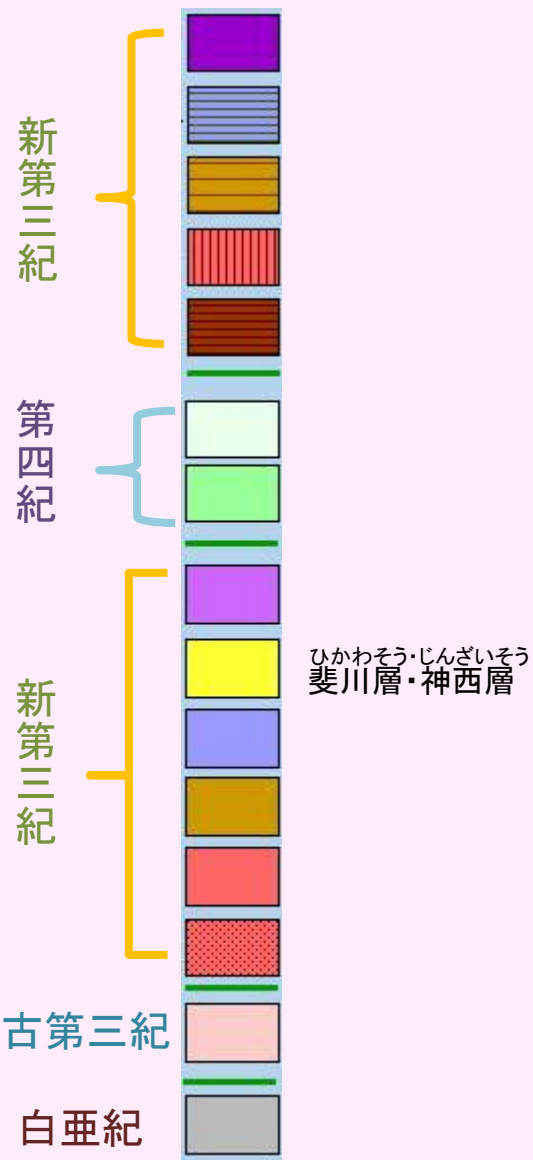


* 内陸部はほぼ陸になり、布志名層の辺りは浅い海になってきました。そして北のより深い場所で古江層が堆積しました。



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(1200万年前～1000万年前頃)

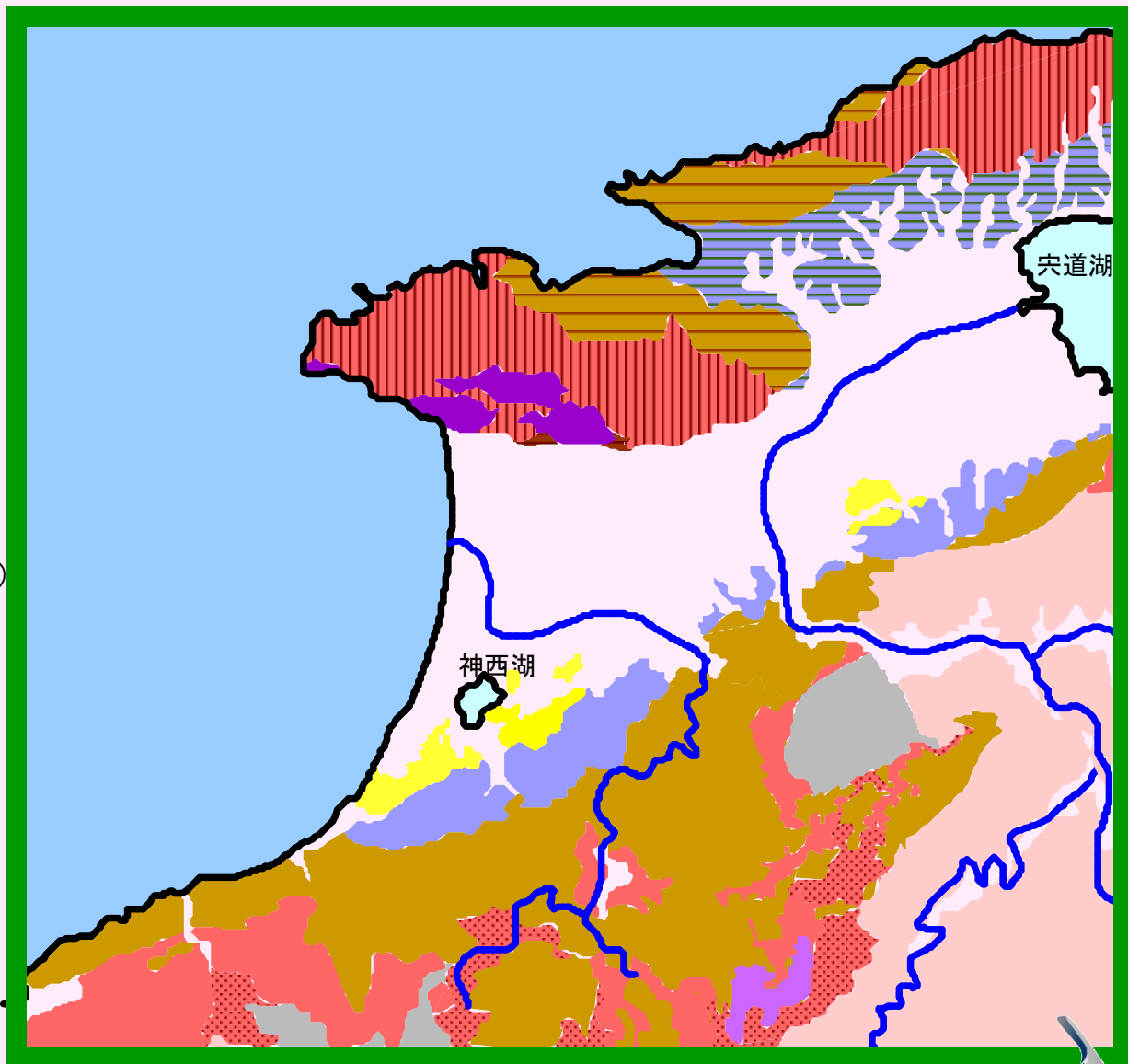
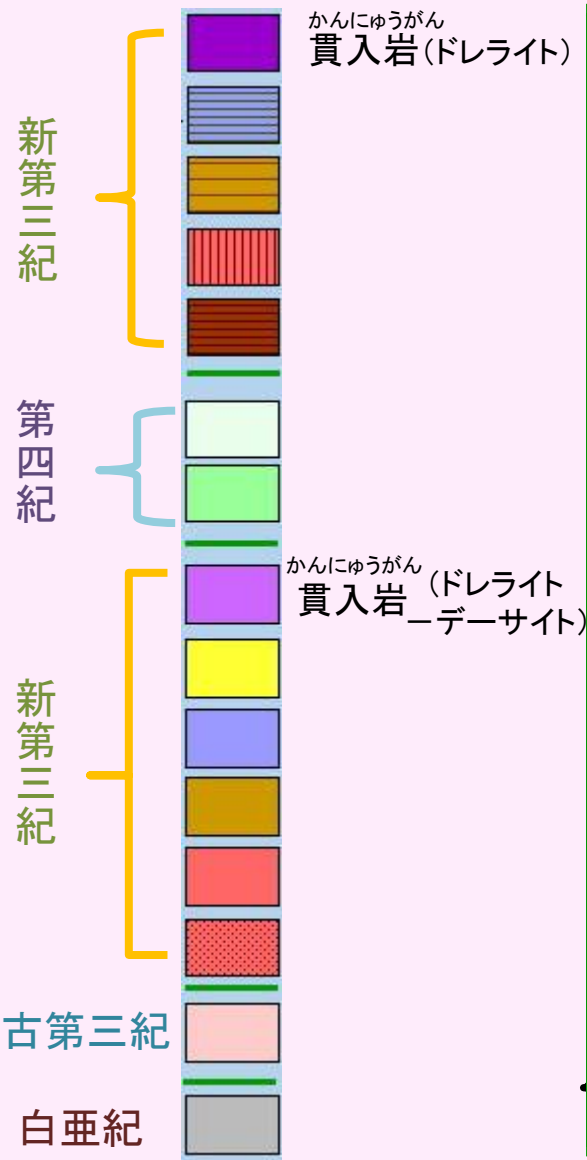


* 半島部(北山)が隆起し、内陸部との間にあった浅い海で地層がたまりました。



出雲地域の地質の特徴

新生代 新第三紀(1200万年前～260万年前の間で)

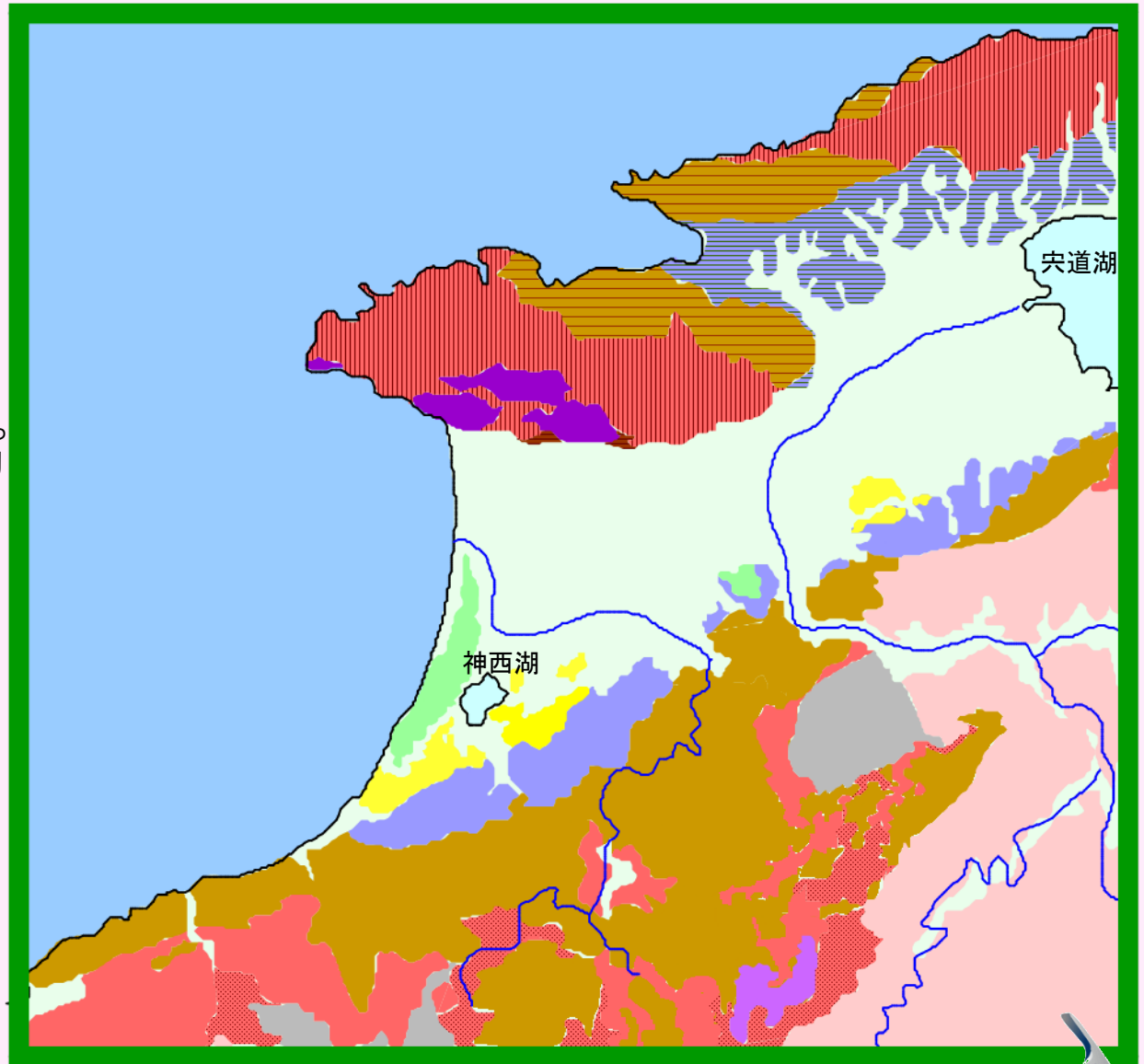
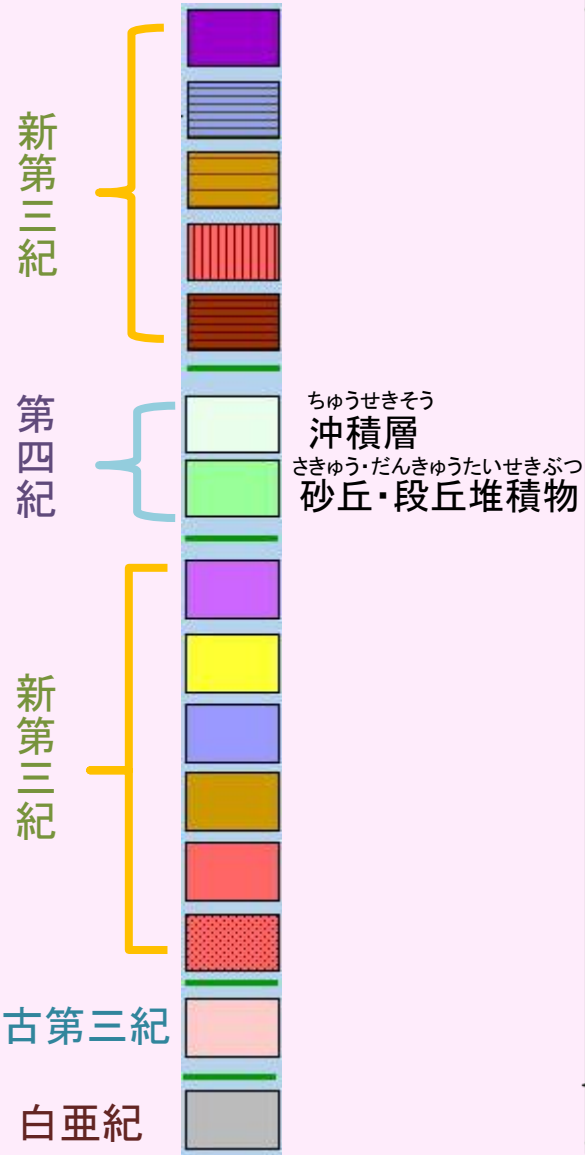


* 粗粒玄武岩(ドレライト)やデーサイトの貫入がありました。



出雲地域の地質の特徴

新生代 第四紀(260万年前～現在)

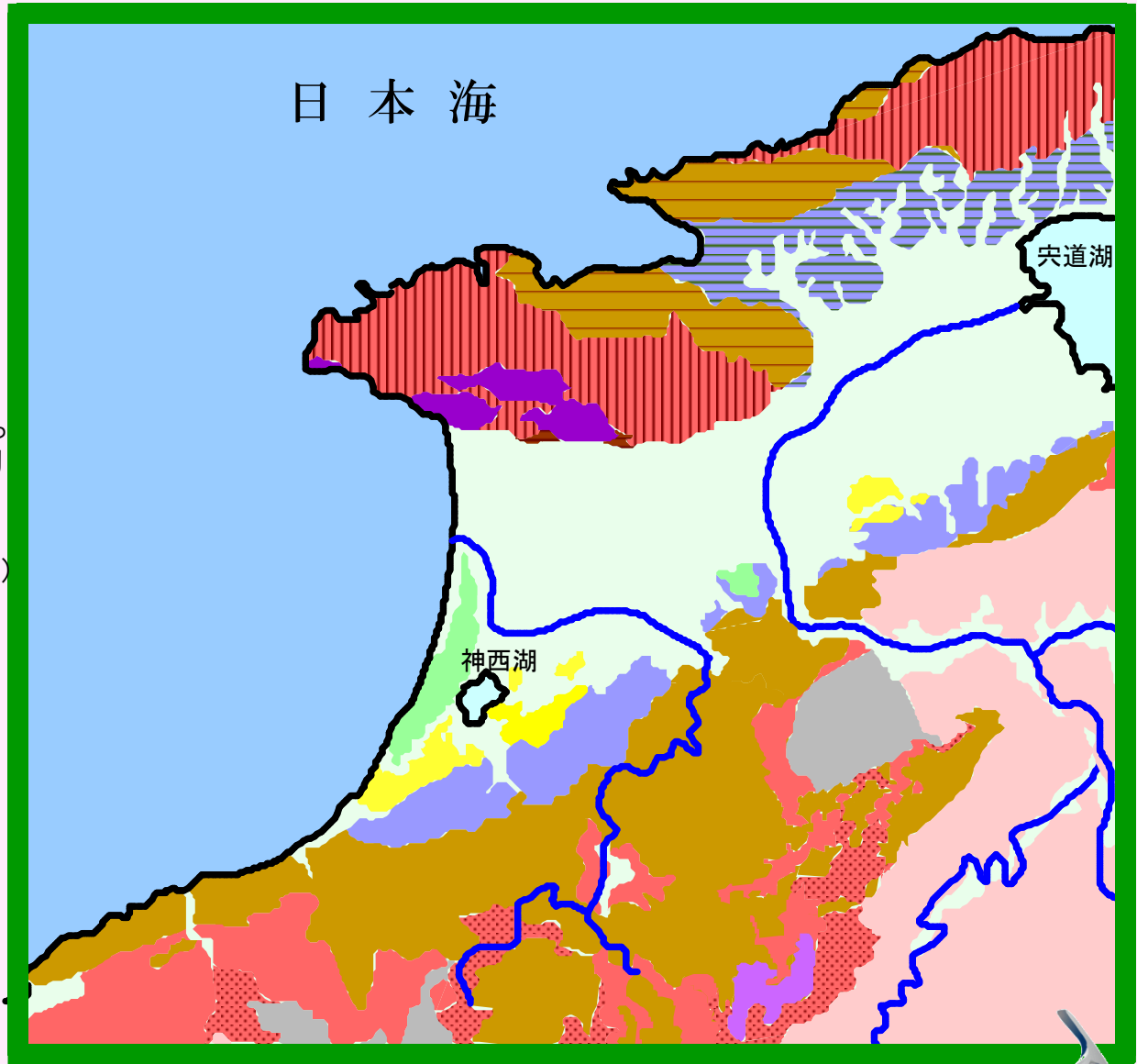


*このようにして、現在見られる地層ができあがりました。



出雲地域の地質の特徴

新第三紀		かんにゅうがん 貫入岩 (ドレライト)
		ふるえそう 古江層
		うしきりそう 牛切層
		じょうそうじそう 成相寺層
		こうらそう 古浦層
第四紀		ちゅうせきそう 沖積層
		さきゆう・だんきゆうたいせきぶつ 砂丘・段丘堆積物
新第三紀		かんにゅうがん (ドレライト —デーサイト)
		ひかわそう・じんざいそう 斐川層・神西層
		ふじなそう 布志名層
		おおもりそう 大森層
		くりそう 久利層
		かわいそう 川合層
古第三紀		かこうがんるい 花崗岩類
白亜紀		かざんがんるい 火山岩類

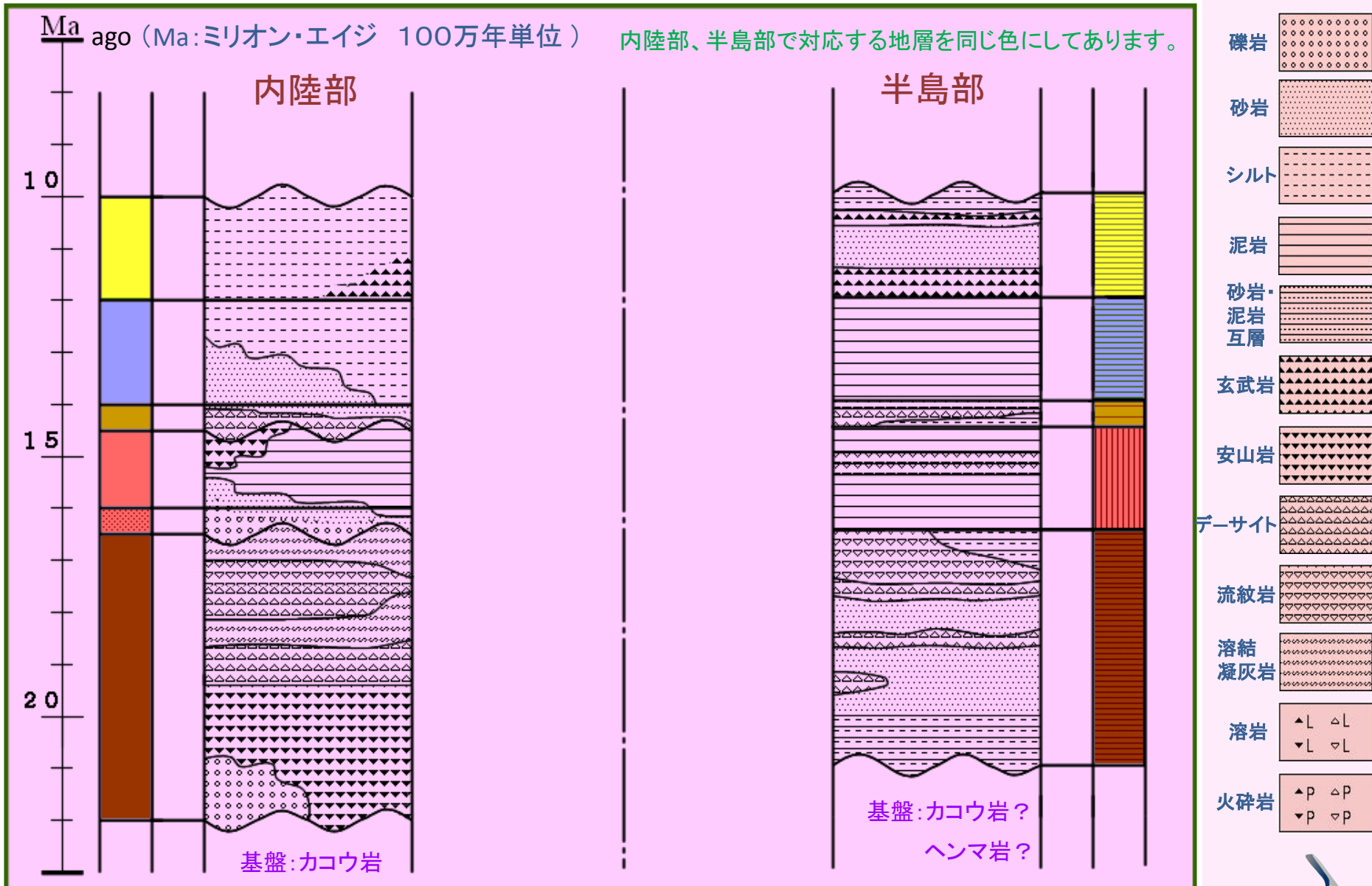


では、次に出雲地域の層序を見てみましょう。



出雲地域の地層の層序 (地層の堆積・形成の順番)

新第三紀の様子を中心に

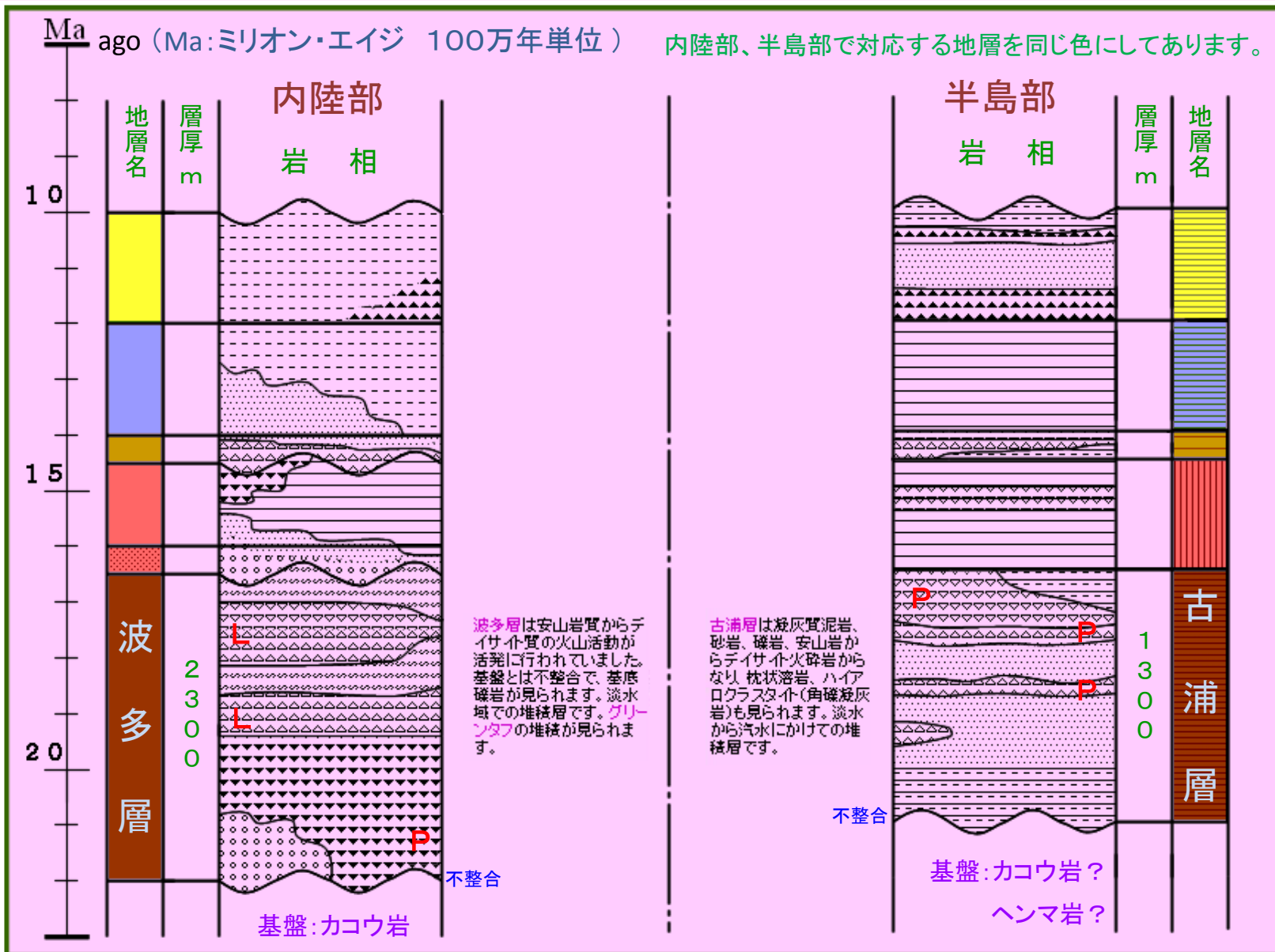


* 一番下の基盤には、内陸部はカコウ岩があります。半島部はよくわかっていませんが、カコウ岩か隠岐で見られるようにヘンマ岩があるのかもしれませんが。



出雲地域の地層の層序

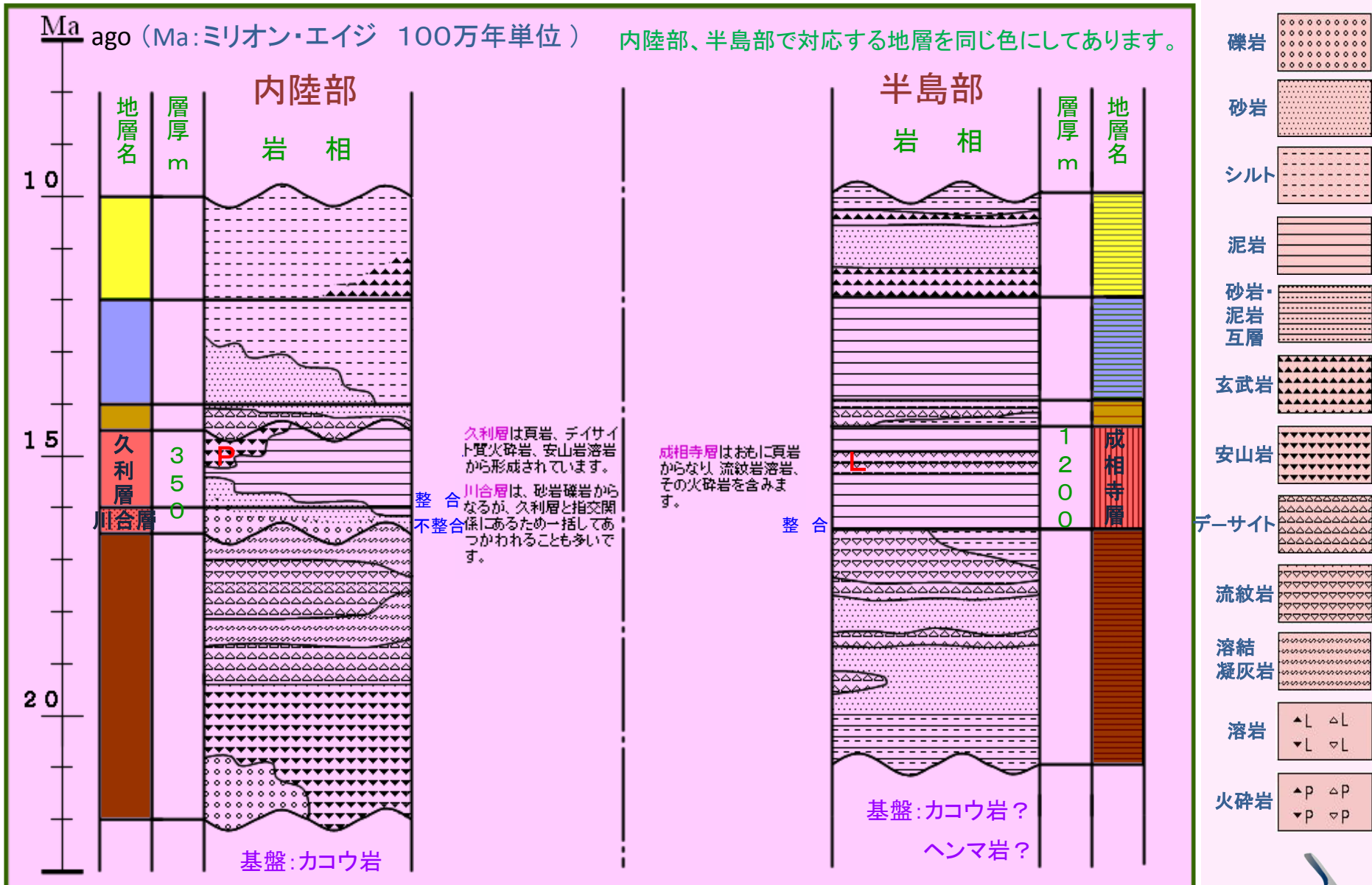
波多層・古浦層 (22.5 - 16.6 Ma ago)



* アジア大陸のはしが陥没し、そこには大きな湖沼が形成され泥がたまっていました。(淡水～汽水) また、安山岩やデーサイトを噴出する活発な火山活動がおきました。



出雲地域の地層の層序 川合層-久利層・成相寺層 (16.6-14.5 Ma ago)

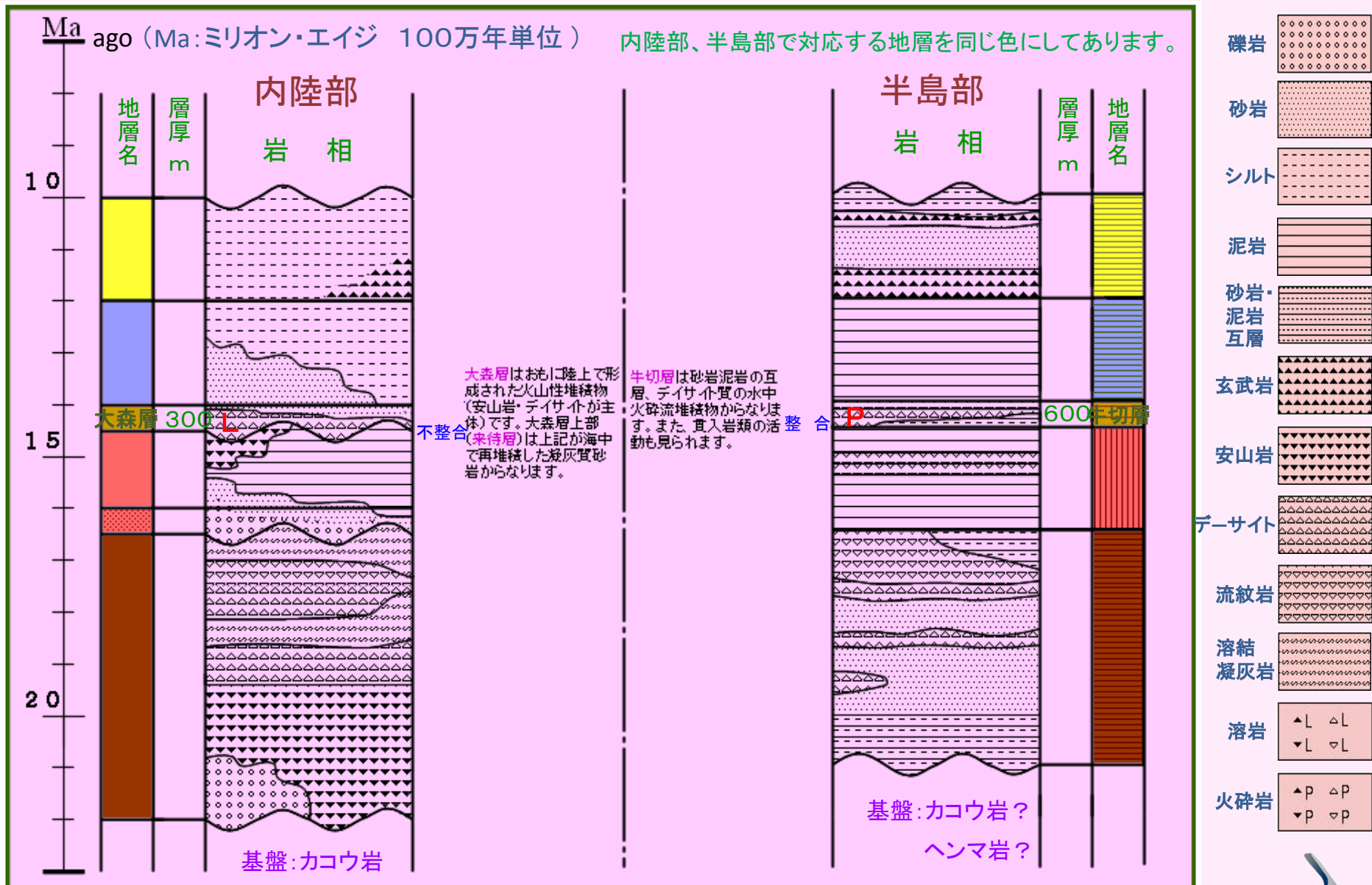


* 日本海が拡大する時期であり、海底で地層が堆積するようになりました。火山活動もおさまってきて、泥の層が多くなりました。



出雲地域の地層の層序

大森層・牛切層 (14.5-14.0 Ma ago)

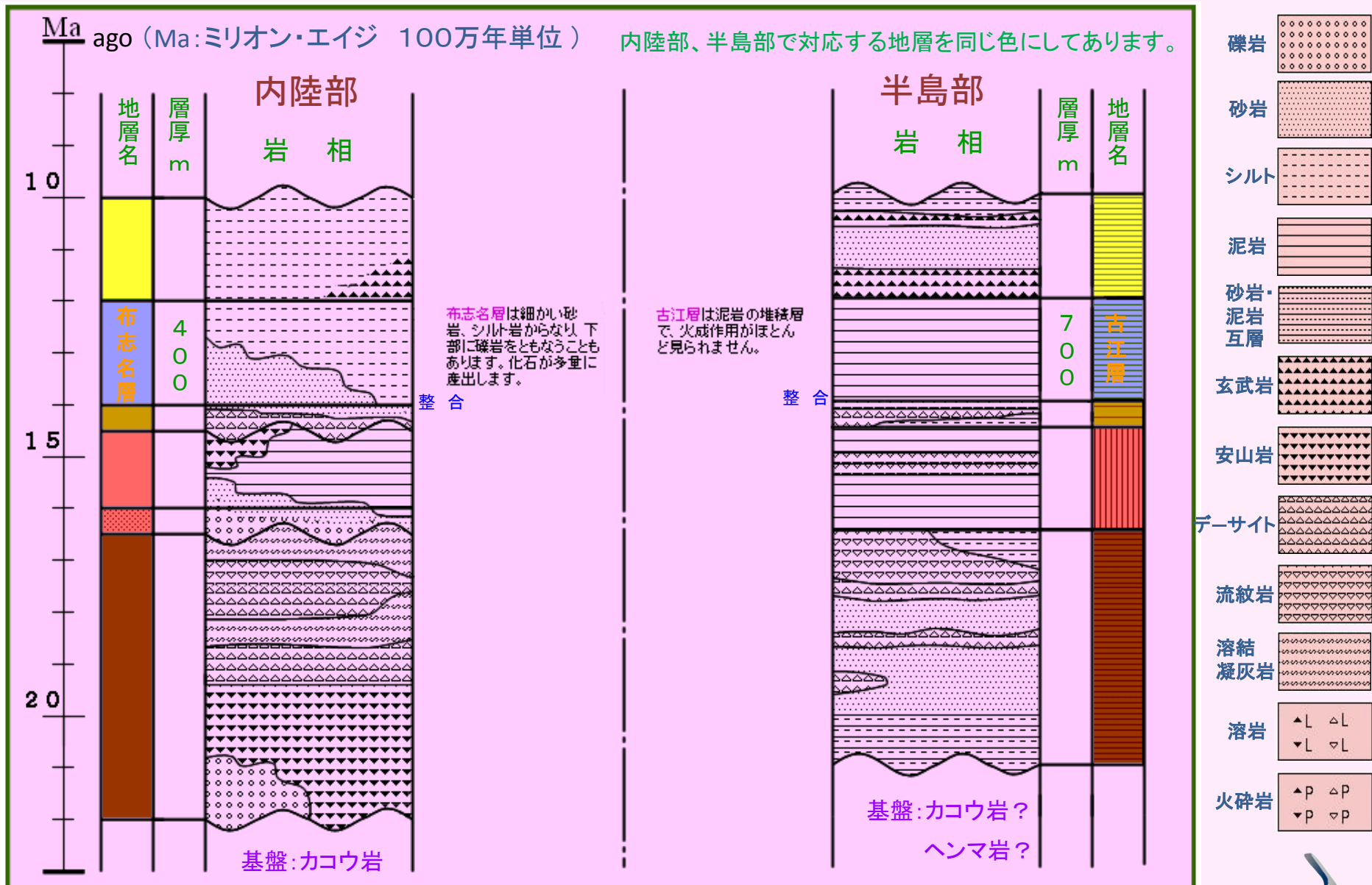


* 日本海の拡大も終わり、今まで海だったところが陸になりました。内陸部の陸上では、安山岩やデーサイト溶岩の火山活動が盛んでした。陸に近い海ではたくさんの砂岩が堆積していきました。



出雲地域の地層の層序

布志名層・古江層 (14.0-12.0 Ma ago)

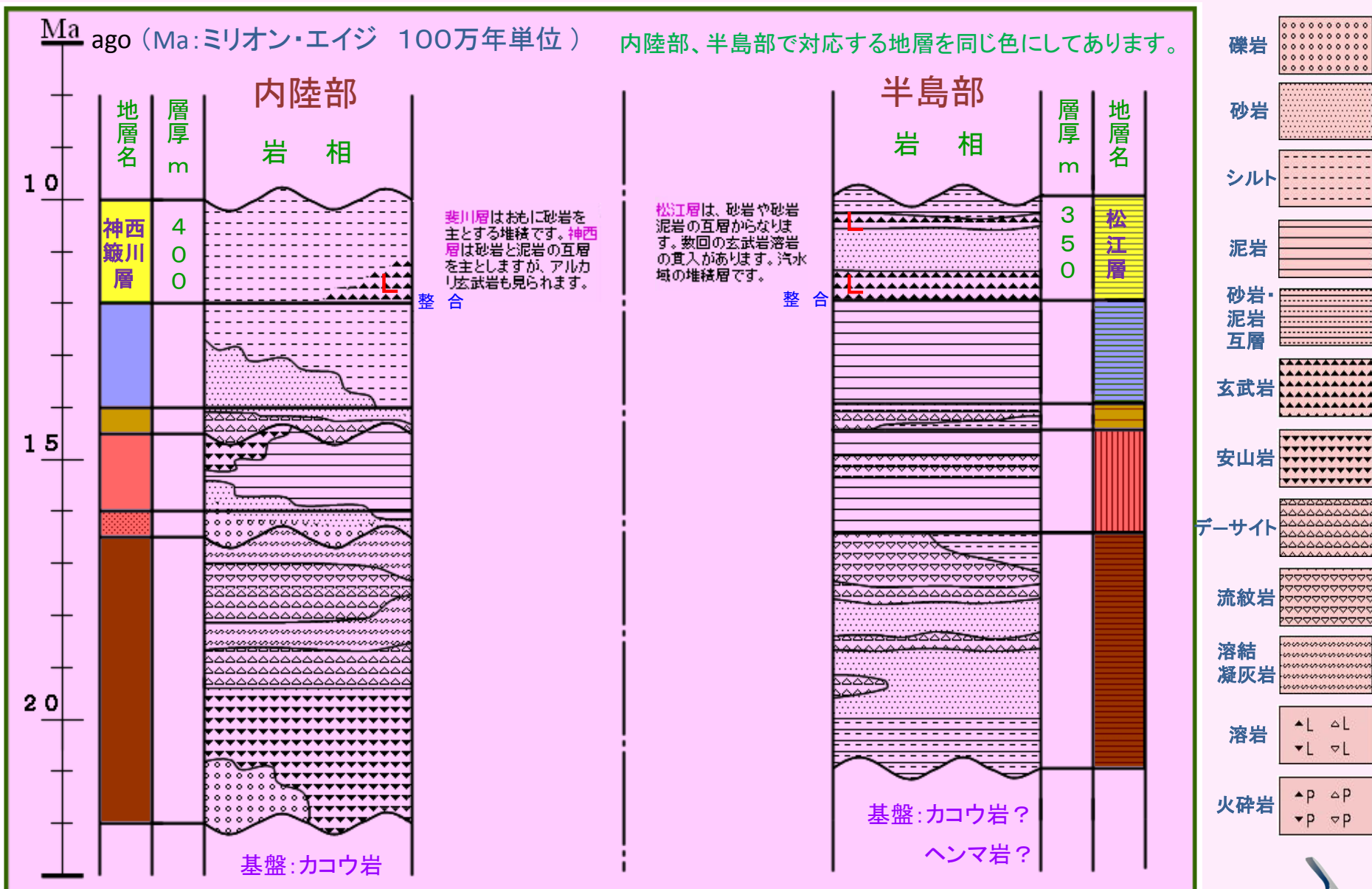


* 内陸部の海岸線は、現在と近いものになりました。(島根半島はまだありませんが)火山活動のない穏やかな時期で、海中には泥がたまっていました。化石をたくさん産出する層です。



出雲地域の地層の層序

神西-簸川・松江層 (12.0-10.0 Ma ago)

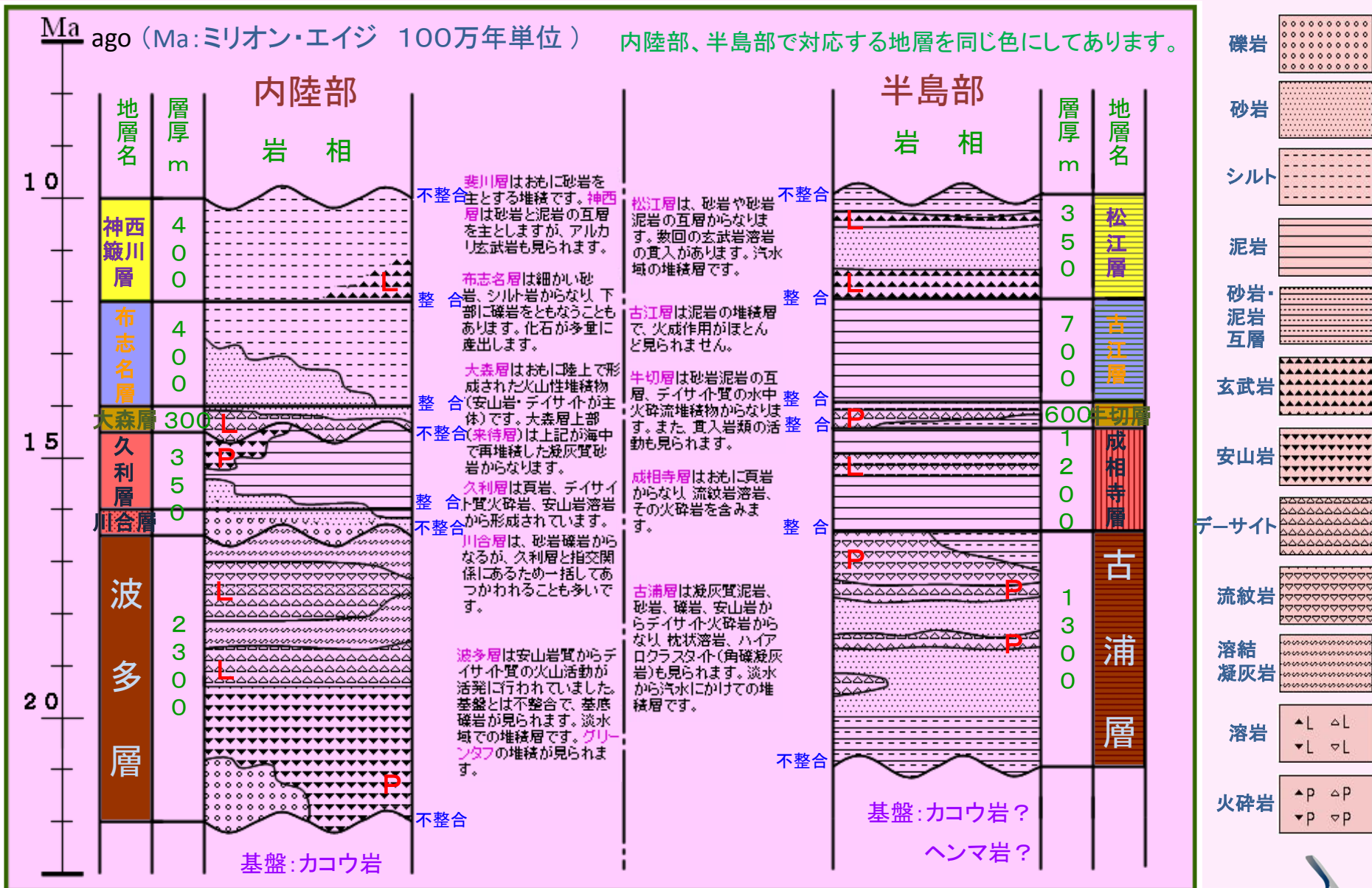


* 島根半島が隆起してきました。そのため、内陸と半島にはさまれた浅い海では、砂や泥がたまっていきました。玄武岩の貫入が見られます。



出雲地域の地層の層序

新第三紀の様子を中心に



* 現在の出雲地域で見られる地層の層序です。出雲地域は、古生代新第三紀に基本的な姿ができたということがわかります。

